

甘くてみずみずしい！ マーコットの収穫始まる

志佐町の池成地区マーコット生産組合（石井英治組合長）の農家で、たわわに実ったマーコットの収穫が始まりました。

池成地区の6戸の農家が約65㍍の畑にマーコットを栽培しており、25トンの収量を見込んでいます。

今年は開花時期の好天にも恵まれ、糖度、玉太りとも良好。集荷したマーコットは低温貯蔵庫に約1カ月間保管し、酸味を抜きながら完熟させます。

贈答用などとして関東地方に出荷されますが、今年から志佐町高野免のたかの直売所（元Aコープ高野店）でも予約販売されています（2月1日～2月19日）。



まちの話題



県ねんりんピック 出場者決まる

—高齢者ゲートボール大会—

平成17年度松浦市高齢者ゲートボール大会が1月17日、みなと公園で行われました。

ゲートボールの普及・振興や、お互いの親ぶくを図るために毎年開催。今大会の上位2チームは、5月に諫早市で開催される「第3回長崎県ねんりんピック」に市代表として出場します。

この日は、市内各地区から19チーム105人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

成績は次のとおりです。

- 優勝 今福Aチーム
- 準優勝 調川Bチーム
- 3位 高野Bチーム
殿之浦チーム

鷹島小児童がホークス交流で北海道を訪問

鷹島小学校6年の10人が12月23日から28日の間、第10回ホークス交流で北海道鷹栖町などを訪問し交流しました。

ホークスサミット（全国の「鷹」のつく5市町村が参加）が縁となり始まった鷹栖町との交流も今回で10回目。毎年夏休みに鷹栖町の児童が鷹島町を訪問し、冬休みに鷹島町の児童が鷹栖町を訪問。お互いの児童の家庭でホームステイをするなどしています。

参加した児童らは、初めて目にする一面の銀世界に寒さも忘れて、スキーやチューブすべり体験などをして交流を深めました。



オルゴールの会が募金活動

音楽愛好家グループ「オルゴールの会」（山口礼子世話人）が12月24日、志佐町のスーパー前でユニセフ募金活動に取り組みました。

同会は、毎年年末に募金活動を行っていて、今年で7回目。今年のハンドインハンドユニセフ募金は「手と手で結ぶ、子どもの未来」をテーマに行われました。

この日は、会員3人が約1時間募金を呼びかけ、集まった約2万2千円をユニセフの支援のために全額送金しました。



松浦魚市場で威勢よく初競り

調川町下免の松浦魚市場で1月6日、初競りがあり、競り人と仲買人の大漁と商売繁盛を願う威勢のいい掛け声が響きわたりました。

天候不良のためこの日の入荷量は近海物を中心に約29ト。アジやサワラ、スルメイカなどが次々と競り落とされました。



寸劇で不審者への対応学ぶ

星鹿小学校で1月11日、子どもを犯罪から守るための地域安全教室（松浦警察署主催）が開かれました。

地域安全活動の一環として、110番の日（1月10日）にちなんで開催されています。

この日は、同校児童と星鹿地区「こども110番の家」や学校関係者ら約140人が参加し、寸劇を通して不審者への対応や110番通報の要領を学習。寸劇では「学校に不審人物が入ってきた」「不審者に声をかけられ、車に乗せられそうになった」などを想定。署員が扮した不審者が近づくと、児童らは近くの大人に助けを求めて110番通報してもらい、駆け付けた署員に不審者の顔や服装、車などの特徴を説明しました。



小学生がバレーボールで交流

第22回松浦市小学生バレーボール連盟会長杯バレーボール大会が12月18日、文化会館で開催されました。

この大会は同連盟に所属する各チームの5年生以下の児童で編成された新人戦です。バレーボールを通じてふれあいと交流の機会を広げ、技術の向上とゲームに参加する喜びを体験させることを目的に毎年開催しています。

この日は市内9チーム（女子8チーム、男子1チーム）が熱戦を繰り広げました。上位の結果は次のとおりです。

- 優勝 鷹島クラブ（鷹島小）
- 準優勝 青葉クラブ（御厨小）
- 3位 飛鳥クラブ（今福小）
- 松浦クラブ（市内の男子チーム）